

# 平成26年度 事業報告書

## I. 事業内容

### 1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究事業 【継続事業1】

#### (1) 「北陸地域の製造業における中小企業の現状と課題」に関する調査及び研究<自主調査>

北陸には、企業経営や技術力において実力のある中小企業が数多く存在する。本調査研究では、いわゆる「元気な」中小企業は、どのような経営方針、設備投資、研究体制、人材育成、産学官金連携、補助金制度の活用を行っているか等を調査分析し、その結果を取りまとめた。

##### <報告書の概要>

##### ・製造業の概況

県別の産業構成、付加価値額など統計データを分析して北陸地域における製造業の特徴を示した。北陸地域における域内生産に占める製造業比率は全国よりも高い。県別では富山で高く、石川は卸売・小売業やサービス業、福井は電気業の比率が高い。

##### ・アンケート調査とヒアリング

北陸3県に本社を有する製造業中小企業を対象に、経営課題、新たな事業分野への展開、企業間連携、雇用や人材の確保・育成、公的機関等による支援策についてアンケートを実施した。また、優れた製造業の中小企業の中から、21社（内、北陸16社）を選定し、ヒアリング訪問取材を行い、各企業における課題への取り組み等を聴取した。

##### ・企業が事業を継続していくには

データ分析、アンケート調査、ヒアリングの結果から、製造業の中小企業が事業を継続していく上で必要なことは、「時代を先読みし、果敢に先手を打つこと」、「自社の強みを正確に把握し、それを活かせるような生き残り策を考えること」、「周辺の協力企業も巻き込んで、集積を活かす形での生き残り策を模索すること」である。

#### A. 検討委員会

回	開催日	開催場所
第1回	平成26年 8月11日(月)	金沢市 ホテル日航金沢
第2回	平成26年10月 8日(水)	金沢市 金沢都ホテル
第3回	平成26年12月 9日(火)	金沢市 金沢都ホテル
第4回	平成27年 2月24日(火)	金沢市 金沢都ホテル

## (2) 「北陸地域における農業分野の今後の方向性」に関する調査及び研究〈自主調査〉

農業従事者の高齢化や担い手の減少等が進み国内における農業の衰退が課題となっており、歯止めを掛けるべく、成長戦略をはじめとする政府の対策が進みつつある。

こうした取り組みは、農業事業者にとってはもちろんのこと、農業以外の企業（異業種経営体）にとっても、新たなビジネスやイノベーションを生み出す契機となる。

そこで、本調査では北陸地域農業の今後の方向性として、主に企業（異業種経営体）と農業の連携や協働に関し提言を行う。

### 〈報告書の概要〉

北陸地域農業の実態についてデータ収集及びインタビュー、アンケートにより整理を行い、それらを踏まえて企業サイドの農業への対応の方向性を検討した。

### 〈農業の概況〉

- ・北陸の農業は米中心であり、平均規模は小さい。
  - ・米が中心の農業法人ではミドルクラスが減収減益と厳しい状況にあるが、大規模になると経営の安定性が見られた。米分野には企業参入が少ない。
  - ・野菜には企業参入が多い。典型は食品加工業が上流に展開するパターンである。
- また、植物工場に生産性の改善が見られた。

### 〈まとめ〉

農業（農家）と企業が参入する関係を整理すると以下の3つの方向性が企業から見て有望である。

#### ①企業が農業経営体から農産物を原料として購入、仕入れる。

飲食品工業のように原料として関係が深いケースは、企業が参入しやすいケースもある。企業と農業が連携・協働し、地域循環を実現することが望まれる（地域循環・六次産業化）。六次産業化、農商工連携に関しては、本調査において、農業法人の流通分野等への進出事例に加え、食品加工業者等、企業による生産（植物工場含む）への参入事例等も見られ、双方の立場から様々な形での農業を軸とする経営の多角化が進展していることが確認された。

#### ②企業が農業経営体に技術（機械）を販売提供する。

企業技術の農業分野への展開が期待される ICT 技術や植物工場等は、技術革新（イノベーション）と整理した。

#### ③企業が農業に参入・支援する。

企業が農業に参入するケースは、直接参入するケースと、資金支援等、間接的に参入するケースに分かれる。大規模化の途上にある農業法人を支援することは、一定の投資効果が期待できる。

## A. 検討委員会

回	開催日	開催場所
第1回	平成26年 7月15日(火)	金沢市 金沢都ホテル
第2回	平成26年 9月 4日(木)	金沢市 金沢都ホテル
第3回	平成26年11月17日(月)	金沢市 金沢都ホテル
第4回	平成27年 2月25日(水)	金沢市 金沢都ホテル

## 2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトに必要なコンサルティング及び支援事業

### 【継続事業2】

#### (1) 産・学・官との連携と支援活動

##### A. コンバートEV実証車の開発

コンバートEVの事業化を目指し、当財団と北陸経済連合会が事務局となり、平成24年度に立ち上げた「コンバートEV事業化研究会」の活動として、研究会メンバーを招集しての情報発信・意見交換を2回実施した。

##### 【平成26年度第1回コンバートEV事業化研究会】

福井県が平成25年度に取り組みを開始した次世代農業プロジェクトの進捗を報告した。このプロジェクトでは、小水力発電とコンバートEVを組み合わせる実証試験を平成27年春に予定しており、この試験やその他の取組みへの研究会メンバーへの参加が呼びかけられた。

〔開催日〕 平成27年1月8日(木)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕 17名

##### 【平成26年度第2回コンバートEV事業化研究会】

事務局より、平成22年度から取り組んできたコンバートEV関連の事業を総括し、報告した。研究会メンバーからは、本事業の成果として、富山の企業でEV三輪車の生産が本格的に開始された事例や、研究会メンバーと本研究会のアドバイザーが共同開発した製品がある企業に採用された事例などが報告された。来年度の活動方針についても活発な議論が交わされた。

〔開催日〕 平成27年3月18日(水)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕 13名

## B. サステナブルテクノロジーセミナー

当財団では、今年度より、北陸地域において持続可能な社会を実現するための技術を見出し、企業や大学の研究者に広く情報を提供し実用化を後押しすることを目的に、サステナブルテクノロジーセミナーを立ち上げた。今年度は、企業や大学でのヒアリング、東京で開催されたセミナー等で情報を収集し、資源小国の我が国が今後の競争力を維持するために必要な、環境技術・高効率機器に不可欠なレアメタルのリスク緩和手段の一つとして、レアメタルリサイクル技術を取り上げ下記のセミナーを開催した。

### 【第1回サステナブルテクノロジーセミナー

「求められるレアメタル回収技術とその背景」

〔開催日〕 平成26年12月18日（木）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕 39名

〔第1部：基調講演〕

「レアメタルリサイクルの課題と戦略的都市鉱山研究拠点の展開

～資源循環型社会を目指すSUREの取り組み～」

独立行政法人産業技術総合研究所

リサイクル基盤技術研究グループ長

SUREコンソーシアム 会長 大木 達也 氏

〔第2部：大学研究者からの研究紹介〕

「廃棄物中レアメタルの新しい化学的湿式回収法」

金沢大学理工研究域物質化学系 教授 長谷川 浩 氏

「ゼオライトの性能とレアメタル回収技術への展開」

金沢工業大学バイオ・化学部応用化学科

准教授 渡辺 雄二郎 氏

「溶融・分相技術を用いた希少金属のリサイクル」

福井大学「地域イノベーション戦略支援プログラム」

特命助教 岡田 敬志 氏

## C. 次世代ロボット研究会

北陸の産業集積を活かし、北陸三県の大学・企業が有するロボット関連の知識・技術を結集させ、産業活性化を図ることを目的に、当財団と北陸経済連合会が事務局となり、平成23年9月に「次世代ロボット研究会・北陸」を発足し、活動を進めている。今年度の活動は以下のとおりである。

#### (A) 平成26年度第1回次世代ロボット研究会・北陸

一般社団法人日本機械学会主催による「ロボティクス・メカトロニクス講演会2014」にて、メンバー研究者3名が試作機を展示した。また、研究会メンバーが特別講演、ポスター講演、機器展示、ワークショップ等を聴講、見学した。

〔開催日〕 平成26年5月26日(月)～28日(水)

〔開催場所〕 富山市 富山市総合体育館

〔展示内容〕 ・北陸先端科学技術大学院大学：三次元走査装置  
・金沢工業大学：壁面ロボット、ヘリコプターロボット  
・福井工業大学：上肢リハビリ支援ロボット

#### (B) 平成26年度第2回次世代ロボット研究会・北陸

和倉温泉(株)加賀屋にて、「加賀屋のおもてなし」を聴講した後、接客時間を確保するために導入した設備「配膳用ワゴン搬送システム」を見学した。見学後はワゴン配送システムのメーカーと意見交換を行った。

〔開催日〕 平成26年6月25日(水)

〔開催場所〕 七尾市 (株)加賀屋

〔講演〕 「加賀屋のおもてなし」

(株)加賀屋 帳場部支配人 藤森 公二氏

〔参加者〕 34名

#### (C) 平成26年度第3回次世代ロボット研究会・北陸

研究会のメンバーが、澁谷工業(株)RMシステム森本工場を訪問し、再生医療関連事業の紹介や、大学との共同開発による細胞培養装置の開発等の説明を受けた。引き続き、双腕ロボットを組込んで一連の細胞培養工程を自動的に行う細胞培養システムの組立てや、ボトリングシステム組立の工場見学をするなど、ロボット技術の活用状況について理解を深めた。

〔開催日〕 平成26年9月25日(木)

〔開催場所〕 金沢市 澁谷工業(株)RMシステム森本工場

〔参加者〕 20名

#### (D) 平成26年度第4回次世代ロボット研究会・北陸

第1部の研究会では、国が本年1月にとりまとめた「ロボット新戦略」について、中部経済産業局地域経済部次世代産業課長 瀬賀和也氏による説明および意見交換を実施。第2部は、講演会を実施。第3部は、研究会メンバー、講演会参加者による交流会を行い、ポスターセッションによるPRなど情報交換を行った。

〔開催日〕 平成27年3月19日（木）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者〕 62名

〔第2部：講演会〕

「農業用ロボットの研究開発の動向」

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

生物系特定産業技術研究支援センター 小林 研 氏

「高速道路における維持管理の現状と課題」

中日本高速道路(株)金沢支社 保全・サービス事業部長 河合 朝仁 氏

〔第3部：交流会〕

ポスターセッション他

#### D. 「人工知能・スーパーコンピュータはここまで来た！」

北陸経済連合会イノベーション推進事業部と共催で、人工知能に関する講演会「人口知能・スーパーコンピュータはここまで来た！」を開催した。

ヒトゲノムの情報（30億文字相当）について、スーパーコンピュータを駆使して解析し、がん治療などの医療にも応用できることを講演した。

続いてIBMで開発した質問応答システムである人工知能「Watson」（ワトソン）の最近の動向について講演した。

〔開催日〕 平成27年3月24日（火）

〔開催場所〕 金沢市 金沢ニューグランドホテル

〔参加者〕 62名

〔講演〕 「がんとスーパーコンピュータ」

東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター

教授 宮野 悟 氏

「学習するシステム Watson」

日本IBM株式会社

成長戦略ワトソン担当理事 元木 剛 氏

#### E. 研究会との連携

旧「北陸ものづくり創生協議会」のメンバーが継続している4研究会（ほくりく環境・バイオマス研究会など）と共同事業等を実施した。

(A) CFRP-PT (carbon fiber reinforced plastics : 炭素繊維強化プラス

### チックープロジェクトチーム)

CFRPを用いた新たな材料開発のターゲットとして、防災・減災分野、住宅産業分野を対象に探索した。

#### [会議・検討会]

開催日	内容	開催場所
平成26年 4月23日(水)	全体会議・本年度活動 (ターゲット市場調査)	財団会議室
平成26年 5月27日(火)	防災・減災分野のヒアリング	富山市射水郡 富山県立大学 (高橋、伊藤、古谷研究室)
平成26年11月17日(月)	住宅産業分野ヒアリング	金沢市 大和ハウス工業(株)
平成27年 1月20日(火)	具体的ターゲットを検討	北国ビル会議室

### (B) BTLワーキング (Biomass to liquid ワーキング)

環境省「平成24年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」のバイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野分科会対象に採択された委託事業「生ゴミ・草本バイオマスの複合高効率メタン発酵の技術開発」が昨年度終了し、環境省に事後評価資料を提出し評価結果(5点/10点満点)を得た。また、富山市「バイオガスネットワークによるエネルギー循環システム」への参画を図った。

#### [会 議]

開催日	内容	開催場所
平成26年5月23日(金)	全体会議。環境省に提出する資料の内容確認	金沢市 明和工業(株)
平成26年10月9日(木)	富山市、富山グリーンフードリサイクル(株)に対する実証研究結果の説明	富山市役所

### (C) 北陸産業活性化フォーラム

「基調講演」および4研究会のメンバーによる「異分野連携交流会」を実施した。

[開催日] 平成27年1月28日(水)

[開催場所] 金沢市 金沢都ホテル

〔主 催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔共 催〕 NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会

〔参加者〕 88名

＜基調講演＞

〔演 題〕 「炭素繊維複合材料の現状と課題」

金沢工業大学 研究支援機構 顧問 金原 勲 氏

「非鉄高機能新素材の動向」

富山大学大学院理工学研究部 教授 松田 健二 氏

＜異分野連携交流会＞

〔出展社数〕 23企業・団体

各研究会の活動のPRの場として、また異分野の業種が情報交換等を行う場として交流会を開催した。各研究会のメンバー・団体がブース出展し、事業活動や製品について紹介を行ったほか、各参加者が情報交換などを行った。

## (2) 国等の事業の支援

国、地方自治体、独立行政法人、大学法人、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛等の支援を実施した。

### A. 北陸技術交流テクノフェア〔共催〕

当財団の概要や「R&D推進・研究助成事業」の概要と平成24年度の研究成果及び「北陸ライフサイエンスクラスター」事業を紹介した。

〔開催日〕 平成26年10月16日（木）～17日（金）

〔開催場所〕 福井市 福井県産業会館

〔主催団体〕 技術交流テクノフェア実行委員会

### B. 2014年産業技術総合研究所中部センター研究発表会〔後援〕

〔開催日〕 平成26年6月24日（火）～25日（水）

〔開催場所〕 名古屋市 産業技術総合研究所 中部センター

〔主催団体〕 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター



### C. 国際漆展・石川 2014〔後援〕

- ・国際漆展・石川 2014

〔開催日〕 平成26年10月22日（水）～11月3日（月・祝）

〔開催場所〕 石川県政記念しいのき迎賓館

- ・国際漆展・石川 2014 輪島展

〔開催日〕 平成26年12月19日（金）～平成27年1月18日（日）

〔開催場所〕 石川県輪島漆芸美術館

〔主催団体〕 国際漆展・石川開催委員会

### D. しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道 2014」〔後援〕

〔開催日〕 平成26年10月23日（木）

〔開催場所〕 金沢市 石川県産業展示館 4号館

〔主催団体〕 一般社団法人北陸地区信用金庫協会

### E. 第9回企業&NPO協働アイデアコンテスト〔後援〕

〔開催日〕 平成26年12月16日（火）

〔開催場所〕 名古屋市 名古屋商工会議所ビル

〔主催団体〕 公益財団法人中部圏社会経済研究所

### (3) 技術アドバイス・コーディネート活動

当財団の産学官連携コーディネーターが、産・学・官のマッチングを通じて課題を解決し、新規の成果に結びつけるべく活動を行った。企業、大学、自治体等から依頼を受けた案件については適切な相手先を紹介、またこれらを訪問し自ら発掘した技術シーズ・ニーズについては関心を持ちそうな相手先に提案を行った。当財団のR&D推進・研究助成に採択されたテーマのフォロー活動も行った。

コーディネート活動	件数	具体的内容・成果
依頼件数・提案件数	22件	
マッチング成立	17件	産学12件、産産1件、学学1件 産官 1件、学官2件
さらなる進展あり	7件	具体的成果に向け検討中

### 3. 文部科学省補助事業：地域イノベーション戦略支援プログラム【継続事業3】

#### (1) 「北陸ライフサイエンスクラスター」事業

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」は2年度目を迎え、招へい研究者の研究開発が加速され、論文投稿、学会発表等が行われ、事業化に向けた試作品等のトライアルも進んできている。

当財団は総合調整機関として、プロジェクトディレクター（PD）、統括コーディネータ、地域連携コーディネータ（CD）等が、各参画機関との連絡を密にし、研究開発の進捗管理、事業化に向けた情報収集・提供、競争的外部資金の獲得に向けた活動を実施した。

#### A. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

「がんや生活習慣病」、「認知症」、「広汎性発達障害」といった疾病に関して、予防から診断、治療を行う先進技術を確立するため、大学や企業から以下の9テーマについて研究者を招へいして研究開発を展開するとともに、その事業化に向けた活動を展開した。なお、25年度に実施していた研究テーマ「抗酸化物質（アスタキサンチン）による認知症予防機能性食品の開発」については研究者の招へいは終了し、独自で事業化推進の活動を進めている。

[研究テーマ]

- ・新規TLRリガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発
- ・生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発に向けた基盤研究
- ・生活習慣病の発症・進展における新規ターゲットとしてのToxic AGEs (TAGE) の関与とその阻止
- ・健康長寿社会の実現に向けた革新的デバイスを用いたチップ型ナノバイオ計測システムの創成
- ・チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用インプラントの作製
- ・陽子線癌治療における高度な照射法に対応した検証技術の開発
- ・ナトリウム利尿ペプチドを用いる新たな癌治療戦略
- ・代謝工学を用いた抗炎症剤の開発
- ・抗原特異的な抗体産生細胞新規同定法の開発とその応用

[ラボミーティングの開催]

各研究テーマの研究室を訪問し、研究開発の進捗状況、課題点等々について協議・調整を行うラボミーティングを順次開催した。

[招へい研究者合同戦略会議]

本プロジェクトの目的達成戦略を研究者、クラスタースタッフ全員で共有するとともに、各研究開発テーマの戦略を明確にし、研究開発テーマ間の交流によるシナジー効果を得るための議論を展開した。

〔開催日〕 平成26年8月7日（木）～8日（金）

〔開催場所〕 加賀市 湯～とびあ山中

## B. 大学等の知のネットワークの構築

研究開発の推進、事業化展開に向けて、研究開発の進捗管理、競争的外部資金の獲得、情報発信等々の活動を、富山県、石川県、福井県の各県担当者と連携を行いながら事業を推進した。

事業の進捗管理等のため、県、支援機関、クラスター推進室メンバーによるマンスリーミーティングを毎月開催し、事業推進等について協議・報告を行い情報の共有化、方向性の確認を行った。

特に、知のネットワークを構築するため、本事業がターゲットとしている「広汎性発達障害」、「認知症」、「がん・生活習慣病」についての域内の研究者、研究機関、関連企業、さらには企業や研究室を訪問して収集した技術シーズ等についてのデータベース（テクノマップ）を作成した。

### <競争的外部資金の獲得>

競争的外部資金の獲得支援を行い、下記の研究開発資金等を獲得した。

- ・ 中小企業庁 小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業支援
- ・ 経済産業省 医工連携事業及び戦略基盤技術高度化事業
- ・ 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業（CREST）
- ・ 武田科学振興財団助成金
- ・ 鈴木謙三記念医科学応用研究財団助成金
- ・ 富山県新世紀産業機構 産学官連携推進事業[新商品・新事業創出枠]
- ・ いしかわ次世代産業創造ファンド 新技術・新製品研究開発支援事業
- ・ 福井県 大学連携リーグ連携研究推進事業
- ・ 北陸産業活性化センター R&D推進・研究助成金 等々

### <展示会出展等による情報発信>

北陸ライフサイエンスクラスターの事業概要を広く紹介し、情報交換を行い、連携、交流を推進するため、展示会、シンポジウム等に出展した。

#### (A) 福井県工業技術センター 一般公開医療産業進出企業の展示コーナーに出展

〔開催日〕 平成26年4月17日（木）～19日（土）

〔開催場所〕 福井市 福井県工業技術センター

**(B) ビジネス創造フェアいしかわ2014に出展**

〔開催日〕 平成26年5月15日(木)～17日(土)

〔開催場所〕 金沢市 石川県産業展示館

**(C) BioJapan2014に出展**

〔開催日〕 平成26年10月15日(水)～17日(金)

〔開催場所〕 横浜市 パシフィコ横浜

**(D) 北陸技術交流テクノフェアに出展**

〔開催日〕 平成26年10月16日(木)～17日(金)

〔開催場所〕 福井市 福井県産業会館

**(E) 文科省地域イノベーションシンポジウムに出展**

〔開催日〕 平成27年2月18日(水)～19日(木)

〔開催場所〕 福岡市 福岡大学

<海外調査、情報収集、情報発信>

国際競争力強化地域として積極的に活動を展開した。

**(A) 韓国 GMES2014 (Gangwon Medical Equipment Show 2014)**

**医療機器展示会-湧出商談会**

〔訪問日〕 平成26年4月30日(水)～5月1日(木)

〔訪問先〕 大韓民国 江原道原州市 医療機器総合支援センター(MCC)

**(B) 韓国 大邱慶北先端医療複合団地視察、GMES2014 Autumn**

**(Gangwon Medical Equipment Show 2014)**

〔訪問日〕 平成26年10月22日(水)～26日(日)

〔訪問先〕 大韓民国 大邱広域市 大邱慶北先端医療複合団地  
江原道原州市 原州医療機器テクノバレー

**(C) シンガポール、タイにおける医薬ビジネスに関する調査**

〔訪問日〕 平成26年10月26日(日)～29日(水)

〔訪問先〕 シンガポール アジアメディカルセンター他  
タイ 日本大使館他

<会議、シンポジウム等の開催>

事業推進に係る協議を行う会議やライフサイエンス分野の技術情報発信を行うシンポジウムを開催した。

**(A) 北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会**

平成26年度の活動状況報告を行うとともに、平成27年度の事業計画概要につい

て説明し、了承を受けた。

〔開催日〕 平成27年2月18日（水）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

## （B）外部評価委員会

平成26年度の活動計画、実施状況、研究成果の実用化について評価を受けるとともに、27年度計画に反映するためのコメント、アドバイスを得た。

〔開催日〕 平成26年12月18日（木）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

## （C）国際技術動向調査ユニット

招へい研究者6名の各研究開発テーマについて、担当の地域連携コーディネータが研究の狙いなどを説明した後、各委員より国際的な観点から、知財、薬事法、マーケティング情報等、事業化に向けてのアドバイスを受けた。

〔開催日〕 平成26年10月31日（金）

〔開催場所〕 金沢市 北國ビル

## （D）第2回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウム

「医療・医薬品産業の成長戦略～ライフイノベーションとグローバル化への取り組み～」

〔開催日〕 平成26年7月25日（金）

〔開催場所〕 富山市 パレブラン高志会館

〔参加者〕 約75名

## （E）第3回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウム

「医療・医薬品産業の成長戦略 その2 ～バイオ医薬品事業への取り組み～」

〔開催日〕 平成27年2月5日（木）

〔開催場所〕 富山市 富山電気ビルディング

〔参加者〕 約70名

## （F）第4回北陸ライフサイエンスクラスターシンポジウム

「再生医療の社会実装に向けて その2

～北陸のものづくり企業はどのように再生医療事業に参入するか～」

〔開催日〕 平成27年3月2日（月）

〔開催場所〕 金沢市 石川県地場産業振興センター

〔参加者〕 約90名

## （G）第3回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウムに参加〔後援〕

パネルを展示し、北陸ライフサイエンスクラスターの紹介をした。

〔開催日〕 平成26年8月12日（火）

〔開催場所〕 富山市 富山国際会議場

〔参加者〕 約200名

〔主催団体〕 第3回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウム実行委員会  
(富山県、一般社団法人富山県薬業連合会、富山大学)

**(H) 第15回北陸(日本)・韓国経済交流会議に参加**

日韓両国の地域間の交流拡大の為に開催された会議に参加し、情報収集・企業間交流を進めるとともに、専門分科会「複合医療」のコーディネート・取りまとめを行った。

〔開催日〕 平成26年9月17日(水)～18日(木)

〔開催場所〕 七尾市 あえの風

〔参加者〕 約200名

**(I) 医療現場ニーズ発表会〔後援〕**

〔開催日〕 平成26年10月21日(火)

〔開催場所〕 富山大学附属病院

〔主催団体〕 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

**(J) 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)キックオフ市民公開講座〔後援〕**

〔開催日〕 平成27年2月22日(日)

〔開催場所〕 金沢市 北國新聞赤羽ホール

〔主催団体〕 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン

**(K) 医薬品分野 知的財産ワークショップ in 北陸〔後援〕**

〔開催日〕 平成26年9月2日(火)～平成26年11月5日(水)

〔開催場所〕 ボルファート富山

〔主催団体〕 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

**<他地域等との連携推進>**

知と医療機器創生宮城県エリア、ふくしま次世代医療産業集積クラスター、かがわ健康関連製品開発地域、徳島地域(世界レベルの糖尿病研究開発臨床拠点)等と連携の検討を行い、医療機器開発ニーズ・シーズ共有化等の連携推進に取り組んだ。

また、他地域との相互情報交流を進めることもあり、石川県臨床工学技士会と臨床現場の医療機器開発ニーズを発掘するための連携を行った。

**C. 地域における人材育成の取り組み**

バイオ医薬品製造技術に関する人材教育プログラムについて、富山県立大学と連携して計画、実施した。

- ・生物工学系コース(バイオ医薬の基礎と実際)7回シリーズ

平成26年9月17日（水）～平成26年10月29日（水）

・バイオ人材育成トレーニングコース

平成26年10月30日（木）～平成26年10月31日（金）

#### D. 研究設備・機器等の共用化

北陸地域の大学、公設試験機関等の医療機器、機能性食品等に設置されている試作・開発・評価のために利用できる機器を企業訪問やホームページにおいて広く紹介した。

#### 4. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成（R&D推進・研究助成）事業

##### 【継続事業5】

企業・大学等の研究機関から、①エネルギー・②環境・③ものづくり・④製造技術・⑤地域活性化の5分野で案件を募集し、審査委員会にて厳正に審査し、助成対象者を決定した。交付決定通知書交付式では、併せて研究助成成果発表会を開催した。

<審査委員会>

〔開催日〕 平成26年6月27日（金）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔委員〕 委員長 都築 明博 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター  
産学官連携コーディネータ ほか3名

##### (1) 応募件数と助成決定結果

応募件数	助成件数	助成金額
22件	7件	19,626千円

##### (2) 研究テーマと助成対象者

研究テーマ	申請者	助成金 (千円)
細胞診検査における液状検体から効率的に細胞成分を回収することを目的とした凝集剤の開発	富山大学大学院医学薬学研究部 病理診断学講座 教授 井村 穰二	2,959
地域特産の藻場造成材を活用した輪島地区沿岸でのカジメ群落再生フィールド試験	金沢大学 理工研究域 教授 三木 理	3,000
低温プラズマによる粉粒体食品素材の殺菌・滅菌法の研究開発	金沢大学 理工研究域 サステナブルエネルギー研究センター 准教授 石島 達夫	3,000

酵母による代謝物製造技術を活用した新規機能性食品の開発	(株)TOPUバイオ研究所	2,682
多軸自在継手を用いた可変構造体に関する研究	北陸先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 助教 本郷 研太	2,000
免疫難病の治療を目指した天然薬物シークによる創薬開発	富山大学大学院 医学薬学研究部 (医学) 客員教授 高津 聖志	2,985
標準ファントムを用いた脳磁計評価法の最適化に関する研究	金沢工業大学 先端電子技術応用研究所 講師 小山 大介	3,000

< 交付決定通知書交付式・研究助成成果発表会 >

〔開催日〕 平成26年7月31日 (木)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔成果発表〕

発表テーマ	発表者
「中皮腫の診断補助キットと診断アルゴリズムの開発」	(株)パソロジー研究所 取締役 堀 隆 氏
「ホタルイカに含まれる生活習慣病予防成分の解明と応用」	富山短期大学 教授 竹内 弘幸 氏

また、平成24年度の採択分について、成果報告を会報に掲載し、北陸技術交流テクノフェアで、成果報告のパネルを展示した。

5. 北陸地域の産業活性化のための普及啓発事業 【継続事業6】

(1) 講演会・セミナー等の開催

A. 中小・中堅企業新戦略展開講演会

北陸地域の中小・中堅企業における産業の活性化や新産業創出を図るため、産業構造転換や海外事業展開に詳しい講師を招請し、中小・中堅企業の新戦略展開の推進について講演いただき、北陸地域の産業界や経済界の今後の成長戦略について道筋を探るべく、講演会を開催した。

〔開催日〕 平成26年10月24日 (金)

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔後援団体〕 北陸経済連合会、北陸環日本海経済交流促進協議会

〔参加者〕 33名



〔講演〕 「中小・中堅ものづくり企業の産業構造転換に対する課題と対応方向」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

政策研究事業本部 東京本部 経済・社会政策部

主席研究員 吉本 陽子 氏

「中小企業の海外事業展開における課題と対応方策」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

政策研究事業本部 東京本部 経済・社会政策部

主任研究員 上野 裕子 氏

## B. 平成25年度調査・研究事業報告会

平成25年度に実施した2件の調査・研究事業の内容について、広く一般に周知するためそれぞれ報告会を実施した。

### (A) 「北陸における観光産業の現状と課題」

北陸新幹線開業に伴う観光への影響と課題をテーマにした調査事業の報告会を実施し、九州や東北の先進地域の広域連携や経済効果等を発表した。

〔開催日〕 平成26年6月5日(木)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔主催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔参加者〕 84名

〔第1部：調査報告〕

一般財団法人北陸経済研究所 主任研究員 藤沢 和弘 氏

〔第2部：基調講演〕

「北陸の観光産業の活性化に向けた北陸新幹線を核とした交通の充実」

＜講師＞ (株)ライトレール 代表取締役社長 阿部 等 氏

〔第3部：パネルディスカッション〕

「北陸新幹線開業と北陸の観光産業の展望」

＜パネリスト＞ (株)ライトレール 代表取締役社長 阿部 等 氏

立山黒部貫光(株)・立山貫光ターミナル(株)

常務取締役営業推進部長 永崎 泰雄 氏

(株)日本旅行西日本営業本部

北陸営業部部長 大久保 範繁 氏

一般財団法人北陸経済研究所 調査研究部

主任研究員 藤沢 和弘 氏

## (B) 「北陸地域における健康・医療・介護・福祉関連産業の実態と将来展望」

標記調査・研究では、北陸地域のデータを統計的に処理・類型化し、北陸地域で高齢者が安心して暮らし続けられる社会のあり方を「北陸モデル」としてとりまとめ、大学の研究者や社会福祉法人運営関係者などから招聘した検討委員会において考察した。この成果が企業関係者や行政関係者に広く活用されるよう、報告会を開催した。

〔開催日〕 平成26年7月3日(木)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔主催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔参加者〕 67名

〔第1部：成果報告〕

「地域包括ケア時代の生活支援市場を展望する」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経済・社会政策部  
社会政策グループ長 主任研究員 岩名 礼介 氏

〔第2部：パネルディスカッション〕

＜パネリスト＞ 富山大学 地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門

教授 金岡 省吾 氏

社会福祉法人射水万葉会 特別養護老人ホーム二上万葉苑

施設長 安土 宗孝 氏

(有)ほっとリハビリシステムズ 代表 松井 一人 氏

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 経済・社会政策部  
社会政策グループ長 主任研究員 岩名 礼介 氏

## (2) 技術シーズ(研究成果)の発表会の開催

### A. 産業技術総合研究所「技術普及講演会」

北陸地域の産業の高度化や新産業の創出等の支援活動として、産業技術総合研究所中部センターの講師を招き同所のシーズを紹介した。

また、平成27年度の国の支援制度を中心に、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局から施策の概要を説明した。

〔開催日〕 平成27年3月13日(金)

〔開催場所〕 富山市 アーバンプレイス

〔共催団体〕 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター

〔参加者〕 43名

〔講演テーマ〕

【研究テーマ（講師：産業技術総合研究所）】

- ・高齢化対応型人工関節部材の開発
- ・産総研における生体吸収マグネシウムデバイス開発の取り組み
- ・心疾患患者を救命する補助循環血液ポンプの研究開発

【国の施策（講師：経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局）】

- ・平成27年度 経済産業省関連施策の概要

### (3) 情報提供事業

#### A. 会報の発行

会報91号（平成26年7月）、92号（平成26年11月）、93号（平成27年3月）を発行し、関係先に配布した。

#### B. ホームページによる情報発信

当財団のホームページを随時更新し、各種情報のタイムリーな提供を実施した。

- ・講演会、セミナーの開催案内
- ・R&D推進・研究助成事業の募集案内
- ・事業計画書、会報誌の掲載 ほか

#### C. パンフレットの発行

当財団の概要や事業などを紹介したパンフレットを作成し、周知活動に使用した。

## 6. 連絡会議等の開催

### (1) 連絡会議

当財団の事業活動と意を同じくする全国の産業活性化センター及び地域技術センターと、それぞれの地域事情や共通課題の解決に向けて、意見交換や交流を図った。

#### A. 第42回全国産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成26年10月16日（木）～17日（金）

〔開催場所〕 広島市 リーガロイヤルホテル広島

#### B. 全国地域技術センター連絡協議会

第1回 〔開催日〕 平成26年8月29日（金）

〔開催場所〕 東京都 霞山会館

第2回 〔開催日〕 平成26年11月13日（木）～14日（金）

〔開催場所〕 三重県伊勢市 伊勢市観光文化会館

### C. 第13回北陸・中部産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成27年1月16日（金）

〔視察場所〕 会宝産業株式会社

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

#### (2) 賛助会員企業・団体連絡会

賛助会員企業・団体との情報交換を密に行うために、管理部門及び総務部門の代表の皆様に対し、事業計画や事業予算及び主要実施業務を説明し、当財団に対する理解と指導・支援を求めた。

〔開催日〕 平成26年 4月25日（金）

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔出席会員企業〕 10社

## II. 総務事項

### 1. 理事会の開催

#### (1) 第12回理事会

〔開催日〕 平成26年6月2日（月）

〔場 所〕 金沢都ホテル

〔出席者〕 理事6名、監事1名

〔議 案〕 第1号議案 平成25年度事業報告書（案）について

第2号議案 平成25年度財務諸表（案）及び監査報告書について

第3号議案 平成25年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び  
監査報告書について

第4号議案 一般財団法人北陸産業活性化センター定款の一部追加  
（案）について

第5号議案 新任理事の選任（案）について

第6号議案 平成26年度 第11回評議員会の開催（案）について

#### (2) 第13回理事会

〔開催日〕 平成27年1月14日（水）

〔場 所〕 ホテル日航金沢

〔出席者〕 理事6名、監事1名

〔議 案〕 第1号議案 「国補助金獲得時の北陸産業活性化センターの組織体制  
（案）」について

第2号議案 「平成26年度臨時評議員会開催（案）」について

#### (3) 第14回理事会

〔開催日〕 平成27年3月9日（月）

〔場 所〕 金沢都ホテル

〔出席者〕 理事7名、監事2名

〔議 案〕 第1号議案 平成27年度事業計画書（案）について

第2号議案 平成27年度収支予算（案）について

第3号議案 平成26年度第13回評議員会の開催（案）について

第4号議案 地域再生計画に関する事項（案）について

### 2. 評議員会の開催

#### (1) 第11回評議員会

〔開催日〕 平成26年6月27日（金）

〔場 所〕 金沢都ホテル

- 〔出席者〕 評議員 4名  
〔議案〕 第1号議案 平成25年度財務諸表（案）及び監査報告書について  
第2号議案 平成25年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び  
監査報告書について  
第3号議案 一般財団法人北陸産業活性化センター定款の一部追加  
（案）について  
第4号議案 新任・交代の評議員及び理事の選任（案）について

**(2) 第12回評議員会**

- 〔開催日〕 平成27年1月26日（月）  
〔場 所〕 ホテル日航金沢  
〔出席者〕 評議員 5名  
〔報 告〕 北陸ライフサイエンスクラスターの状況報告他

**(3) 第13回評議員会**

- 〔開催日〕 平成27年3月17日（火）  
〔場 所〕 金沢都ホテル  
〔出席者〕 評議員 8名  
〔議案〕 第1号議案 平成26年度事業計画書（案）について  
第2号議案 平成26年度収支予算（案）について

**3. 業務及び財産状況の検査**

平成26年5月28日 監事監査

**4. 登記事項**

平成26年7月29日 一般財団法人変更登記 評議員及び理事の変更

**5. 内閣府への認可申請・届出事項**

平成26年6月27日 公益目的支出計画実施報告書

**6. 定款の一部変更**

平成26年6月27日

**7. 労働基準監督署届出事項**

平成26年4月 7日 就業規則（職員・嘱託職員・嘱託管理職員、他関係規則）変更届

平成26年4月22日 就業規則（職員・嘱託職員・嘱託管理職員）変更届

平成26年7月25日 時間外労働・休日労働に関する協定届

平成26年11月12日 就業規則関係規則変更届

平成27年 2月10日 就業規則（嘱託職員・嘱託管理職員）変更届

以上

## 【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する事業報告内容を補足する重要な事項はありません。

以 上